

# まつやまの水道



ぽっちゃん  
松山市水道イメージキャラクター

## ●「まつやまの水道」の発行にあたって

松山市の水道について、市民の皆さんに広く知ってもらうため、広報紙「まつやまの水道」を発行することにしました。ご活用ください。

この広報紙についてのお問い合わせ

松山市公営企業局  
水道サービス課 広報担当  
松山市二番町四丁目4番地6  
TEL.(089) 998-9885  
FAX.(089) 948-0727

## 災害に強い水道をめざして

近い将来、大きな被害を及ぼすおそれのある南海トラフ巨大地震の発生が予想されています。本市では、地震が起きても、生命にかかわる水道水をつくり、皆さんにお届けすることが最優先であると考え、水道水をつくる浄水場やためておく配水池の耐震化を進めています。今後は、これらに加えて、水道管の耐震化や、指定避難所である小中学校への応急給水栓の整備を重点的に行うことで、災害時に、いち早く皆さんへ水道水をお届けできるように取り組んでいきます。



写真:宮城県企業局提供

東日本大震災で被害を受けた水道管

## 浄水場や配水池の耐震化に取り組んでいます！

市で最も大きな浄水場である市之井手浄水場をはじめ、垣生浄水場の一部を除く、すべての浄水場の耐震補強工事を行い、地震が起ころうとも水道水をつくり続けることができるようになりました。

また、水道水の供給に必要な配水池の耐震化は、給水に影響がでないよう計画を立て、耐震補強工事や建て替えを行っています。



耐震補強工事をした市之井手浄水場



新しく建て替えをした久谷第1配水池

## 地震に強い水道管への取り替えを計画的に進めています！

生活に欠かすことができない水道水は、大きな地震が発生したときも、できるだけ早く皆さんにお届けする必要があります。

市内のほとんどの水道管は、地震にある程度耐えることができるダクタイル鋳鉄管ですが、より地震による被害を少なくするため、水道管の継手が外れない構造に改良された「耐震管」への取り替えを行っています。

特に、基幹管路と呼ばれる主要な水道管は、壊れると被害が広範囲に及ぶため、安全性や経済性を考慮した「基幹管路の耐震化基本構想」を平成25年3月に策定し、重点的に取り替えを行っています。

工事の際は、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

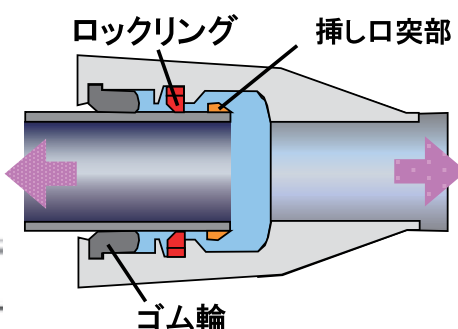
この看板が目印だよ！



## 地震に強い水道管って??

地震で地盤が動くと、水道管と水道管をつないでいる継手部分が外れて水漏れの原因になってしまいます。地震に強い耐震管は、イラストのように、矢印の方向に管が引っ張られても、挿し口突部がロックリングに当たって、管のつなぎ目が外れない仕組みになっています。

管のつなぎ目が外れにくいだね。



## 地震など災害に強い水道をめざして取り組んでいます

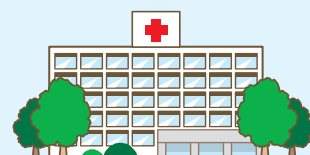
地震に強い水道管に取り替えています



## 救急医療機関への給水ルートを優先して耐震化しています！

命を守る救急医療機関に水道水を届けることも重要になります。

市内14カ所の救急医療機関につながる水道管の耐震化を優先的に進め、平成29年度中に、すべての救急医療機関への給水ルートが耐震化される予定です。





## 災害時に水道水をいち早く届けるため、「応急給水栓」をつくっています！

大きな地震が起こったときに、できるだけ早く水道水をお届けするため、上水道の給水区域内にある指定避難所の小中学校に、「応急給水栓」を整備しています。

応急給水栓は、簡単な訓練でホースと組み立て式じゃ口を取り付けることができ、地元の自主防災組織の方などが、いち早く給水所を開設できます。

平成28年度は、久米小学校、桑原小学校、椿小学校に設置しました。平成38年度までに残り70カ所の小中学校に整備する予定です。

応急給水栓ができた学校の校門には、避難場所を示す標識に、「応急給水拠点」のマークがついているよ。



### 防災かまどベンチ

普段は「ベンチ兼収納庫」、災害時は炊き出し用の「かまど」になる優れものです。

ベンチの中には、応急給水栓に取り付けるホースや組み立て式じゃ口を収納しています。



### どうして水道管の耐震化や 応急給水栓が必要なの？



大きな地震が発生したときに、給水車で水道水を配っている様子をテレビなどで見たことがある方も多いと思います。

本市でも、地震で断水が起こったとき、市民の皆さんへ水道水を配るために、給水車2台のほか、トラックの荷台に積んで水道水を運べる大小さまざまなタンクを64基保有しています。

しかし、「松山市地域防災計画」で断水が予想されている約29万人に給水車(2m)で水道水を運ぼうとすると、飲み水(1人1日3リットル)だけで1日当たり400台以上が必要になり、時間がかかるうえ、1回に運ぶことができる量は限られます。

そこで、水道管を耐震化し、応急給水栓を整備することで、給水車に比べて、より早く、しかも絶え間なく水道水が届けられるようになり、多くの方に水道水を配ることができます。

水道管は、たくさんの水道水を届ける運搬役なんだよ！



## ご家庭でもできる備えがあります！～「飲料水の備蓄」と「水を運ぶ容器の準備」～

災害で断水が発生した場合、被害の規模によっては、すぐに水道水をお届けできないこともあります。

そこで、ご家庭でも日頃から「1人1日3リットル、1週間分」を目安に飲料水の備蓄をお願いします。

また、給水車や応急給水栓などから水道水を受け取るための容器が必要です。ご家庭で非常用飲料水袋や飲料水用タンクなどを準備してください。



飲料水袋やタンクは、ホームセンターなどで購入できるよ！

### 飲料水の備蓄

1人1日3リットル、1週間分が飲料水の備蓄の目安です。



7日分

### 水を運ぶ容器の準備

#### ●非常用飲料水袋

使わない時は折りたたむことができるので、非常用持出袋の中に入れておけます。

背負うタイプは、運ぶ時に両手が使えるので便利です。

手提げタイプでも、リュックに入れば同様に運べます。



#### ●飲料水用タンク

便利なコック付きのものもあります。

タンクは水を入れると重くなるので、キャリーカートを用意するなど、家まで運ぶ方法を考えておきましょう。



お引越し時の手続き(水道の中止・開始)等は…  
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社松山営業所へ

問い合わせ

☎089-915-0311